

身近な自然に興味を持とう

身近な自然に触れ合おう

私たちにとって最も身近な自然の一つ、鏡川。古くから市民の飲み水であり、その清流は流域の豊かな自然環境を育み、私たちの生活に関わっています。

しかし近年、川と人のつながりが薄れてきたことや、源流域に対する関心の低さから、流域の豊かな自然や景観の質が低下してきています。

市では、私たちにとって当たり前にある鏡川の現状と課題を知るための「鏡川流域関係人口講座」を開催。講座の修了生が鏡川の魅力や環境に関するさまざまな情報発信や活動を展開し、多くの人と鏡川のとつながりが生まれています。



修了生が多彩な企画・イベントをプロデュース!

比留間 優子さん (埼玉県)

鏡川上流域の古民家を活用したイベントの開催や、流域の特産品を首都圏でPRしています。



大久保 真希さん (南国市)

食べることで竹林の整備につなげる「タケノコ食べて放置竹林解決プロジェクト」を立ち上げました。



藤澤 佑介さん (高知市)

鏡川上流域を散策し、気になったものをスケッチして共有するイベントを開催しました。



「鏡川流域パートナーシップだより」公開中

鏡川流域関係人口講座や、その受講生の企画、イベントレポートなどをお届けしています!



未来へつなげる「計画」

高知市の未来の子どもたちが豊かで健康な生活を送ることができる環境を守るために、市は昨年「第三次高知市環境基本計画」を作成しました。新エネルギー・環境政策課 HP で公開しています。



Let's Try 気軽に参加できる!
鏡川の活動でつながりませんか

スマホアプリ「まちのコイン (高知市版・ぼっちり)」をご存じですか。アプリの中で「ぼっちり」というコインを使って、地域のことを知ったり、イベントに参加したりすることで、人やまちとのつながりが生まれます。ぜひ登録して、鏡川での川遊びや清掃活動などに参加してみませんか。

まちのコイン 「まちのコイン」公式HP ▶



【めざす未来の姿】

鏡川を中心に多くの人々が自然と関わりを持ち、豊かな自然・生物が人と共に生きていける。



【めざす未来の姿】

環境問題を意識したライフスタイルが定着し、温室効果ガスの排出量が少ない。

【めざす未来の姿】

ごみの減量や適切な分別・処理により、環境への負荷が低減されている。

ごみを減らして環境に優しく

毎日の環境活動「ごみの分別」

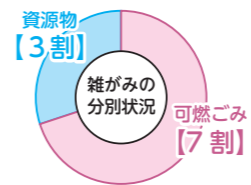
環境を守るための一番身近な取り組みが、ごみの収集や処理。高知市には、可燃ごみや資源物などの分別ルールがあり、定期的に収集・処理することで、悪臭などのない衛生的な生活を送ることができています。

ごみを分別し減らすことは、地球温暖化などの環境問題の解決にもつながります。毎日の暮らしの中で、もう少しごみの分別を意識してみませんか。



分別で特に意識してほしい「雑がみ」

食料品や日用品の紙箱、紙袋などの「雑がみ」は、ビン類や金属物などと一緒資源物として回収されていることをご存じですか。市が行ったアンケートによると、7割の方が可燃ごみとして排出しています。この「雑がみ」をきちんと分別すれば、資源としてリサイクルされるだけでなく、ごみとして燃やす際の燃料も削減できます。



Let's Try 今日からできる!
「雑がみ」を分別してみよう

お菓子やティッシュの箱紙など、分かりやすいものから始めてみましょう。雑がみは畳んで小さく・薄くできる物が多いので、ごみ箱のそばに紙袋や封筒を置き、そこに入れるようにすると場所を取りません。

分別について、詳しくはこちら▶



子どもたちに安心して暮らせる環境を 高知市の未来のためにできること

世界の平均気温が1.5度上昇すると異常気象の発生頻度が高くなると言われている中、高知市の年間平均気温は40年間で約1.6度上昇しています。生きていく上で欠かせない空気や水、そして身近にある鏡川や街路樹、山の木々。環境は私たちに多くの恩恵を与えてくれます。この「豊かで健康な生活ができる環境」を未来の子どもたちにつないでいくために、いま私たちに何ができるのか、一緒に考えてみませんか。

地球温暖化を食い止めよう

世界の課題「地球温暖化対策」

最近よく耳にする「異常気象」。毎年のように起こる豪雨災害など、地球温暖化の影響が指摘される気候変動は、私たち一人一人の暮らしにも関わる問題になっています。



地球温暖化への影響が大きいと言われているのが、私たちが電気を使ったり、車に乗ってガソリンを使ったりすることで排出される二酸化炭素 (CO2)。実は私たちの生活の中に、このCO2排出量を減らす工夫が隠れています。

Let's Try ちょっとした工夫でできる!
CO2削減を意識してみよう

「地産地消」でお買い物

遠い場所から食材や物を運ぶと、飛行機やトラックなどでたくさんの燃料を燃やすことになります。地元の物を選ぶことが、CO2を減らすことにつながります。



「おいしく食べきる」食生活

食べ残した料理や、使い切れなかった食材はごみになり、焼却の際にはCO2が排出されてしまいます。無駄のない食生活で、環境に優しい生活を始めてみませんか。

